

令和6年度第1回広島県私立学校審議会 議事録

- 1 日 時 令和6年7月24日（水）15時00分から16時15分まで
 - 2 場 所 広島市中区基町10番52号
広島県庁 北館2階 第2会議室
 - 3 出席委員 米川会長 加藤委員 喜田委員 清川委員
田原委員 原田委員 吉川委員 米川委員 （委員8名出席）
 - 4 議 題
認可事項
 - 1 並木学院高等学校の広域通信制課程に係る学則変更について
 - 2 学校法人庄原こどもの夢学園の寄附行為の認可について
 - 3 川北こどもの夢小学校の設置について
 - 4 廿日市聖母マリア幼稚園の収容定員に係る学則変更について
 - 5 福山医療専門学校の目的の変更について
 - 6 KS国際学院の収容定員に係る学則変更について
 - 5 担当部署 広島県環境県民局学事課
TEL082（513）2758（ダイヤル）
 - 6 会議の内容
 - (1) 開会
委員総数10名中8名が出席しており、定足数を満たしていることを確認した。
 - (2) 認可事項
 - 1 並木学院高等学校の広域通信制課程に係る学則変更について
 - (ア) 申請内容
通信教育連携協力施設の追加等
 - (イ) 質疑内容・意見
特になし
 - (ウ) 結論
適当と認める。
- 以下、一括審議
- 2 学校法人庄原こどもの夢学園の寄附行為の認可について
 - 3 川北こどもの夢小学校の設置について
 - (ア) 申請内容
学校法人の設立及び小学校の設置
 - (イ) 現地調査報告

建物自体は非常にしっかりしていて、鉄筋だが、内部は木の良さを生かしたような、本当に子供たちが過ごしやすいような施設だった。

運動場も広くてしっかりしており、また、色々なプロジェクト学習するときに使うであろう工作室とか、各教室はきちんと整っていて、募集人員からすれば、贅沢なぐらいな広い施設だった。

それから、応募があるか不安だったので代表者に当日質問したが、プロジェクト学習といったものに興味を持っているやはり家庭があって、場合によっては、一家で移転してくるご家庭もあるようだ。

私が今心配してるのは2つあり、1つ目は、プロジェクト学習を実施するためやはり教職員の方のかなりの指導力が必要になるだろうと。すばらしい企画だけにやはり指導者の力量が問われるというのはすごく感じて、その辺りがうまくいけばいいなというふうに思った。

それともう1つは、あまりの田舎ですから、熊です。

(ウ) 質疑内容・意見

アンケートでは入学希望者は69名となっており、一方、初年度の計画では1学年12名(×5学年)となっている。現在の見込みとして学年のバランスはどうか。

(学校) 低学年が多い。12名を超える学年があっても、(1学年20名、30名になっても)希望があれば初年度から予定の60名を超えても受け入れたい。

定員を超えて希望者が多かった場合、選抜の基準は決めているか。

(学校) 入学試験は考えていない。定員を超える場合は断ることになる。先着順ということか。

(学校) そうですね(肯定の意図か不明)、介助が必要な人は断らざるを得ないと考えている。また、面談の内容も判断基準とする。

介助が必要な人を断ると障害者差別につながるのではないか。

(学校) 発達障害の児童は受け入れるが、自立できない人は難しい。

寄附行為の具体的なことは学事課と調整してほしい。

熊対策について対策が必要と思われるがどう考えているのか。

(学校) 庄原市と詰めていきたい。

3年目の新入生の定員は20名になっている。順調にいった場合、将来的には120名(20名×6学年)の受入れを考えているのか、90名以内になるようにコントロールしていくのか。

(学校) 将来的には120名まで受け入れたいと考えている。

収支予算において、令和9年度、7千万円の支出に対して収入に余裕がある(前年度からの繰越を含めて1億7千万円)が、授業料を安くすることは考えているか。

(学校) 当初の児童数はそこまで多くないと思い、教員の給与を抑えた計画になっているので、見直しができるれば、給与を上げたい。

収支予算の付随事業は何を考えているか。

(学校) 現在行っている模擬学校、体験プログラムの参加費収入や、農作物の販売収入を考えている。

(エ) 結論

適当と認める。

4 廿日市聖母マリア幼稚園の収容定員に係る学則変更について

(ア) 申請内容

幼稚園の収容定員の減員

(イ) 質疑内容・意見

満3歳も定員 30 名で決められているのか。

(事務局) 広島県私立幼稚園設置等認可基準に規定されている。

(ウ) 結論

適当と認める。

5 福山医療専門学校の目的の変更について

(ア) 申請内容

専修学校の設立目的の変更

(イ) 現地調査報告

校舎及び工事については十分な広さがあり、またこの新しい新設学科の実習棟の整備も進んでいて、ちょうど改修が終わったような状態だった。十分な施設設備が整えられていた。

また新しく採用された教員の方もすでに着任されていて、新学科の準備を進めているということだった。新しいスポーツ学科については、地域にも競合する学科がないということで、地元に貢献する学科になるのではないかと思う。

(ウ) 質疑内容・意見

特になし

(エ) 結論

適当と認める。

6 KS 国際学院の収容定員に係る学則変更について

(ア) 申請内容

各種学校の収容定員の増員

(イ) 質疑内容・意見

特になし

(ウ) 結論

適当と認める。

以上